

一般社団法人日本呼吸療法医学会
2021 年度（第 44 期）第 1 回理事会 議事録

日 時：2021 年 11 月 18 日（木）14：00～15：30

場 所：WEB 会議形式での開催

出席者：藤野裕士（理事長）、今中秀光、尾崎孝平、竹田晋浩、陳 和夫、
西田 修、大塚将秀、近藤康博、
内田寛治、神津 玲、茂呂悦子、山本信章（各理事）
川前金幸、橋本 悟（監事）

欠席者：志馬伸朗、讃井将満（理事） [敬称略]

陪 席：小笠原聡、濱口知絵、山崎由華（事務局）

【開 会】（藤野理事長）

- ・理事会開催に必要な理事の過半数の出席があることが報告され開会が宣言された。

I. 報告事項

1. 前回理事会・総会議事録の確認・承認（藤野理事長）

- ・前回議事録は、原案どおり承認された。

2. 持ち回り理事会（審議 1 件、連絡 3 件）決定事項の承認（藤野理事長）

- ・審議 1 件の決定事項を承認し、連絡事項 3 件を確認した。

3. 理事長報告（藤野理事長）

1) 新型コロナウイルス関連報告（質問 1 件、取材 0 件、転載許諾 1 件）

- ・COVID-19 関連の質問 1 件、転載許諾 1 件について、理事長から報告があった。

2) その他の報告

- ・日本臓器移植関連学会協議会（11/5 Web 開催）への出席が報告された。

4. 事務局からの報告（大塚理事）

- ・会員総数は増加傾向にあり、医師会員は 1,100 名を超え増加を牽引している一方、他職種については横ばい・微減傾向にあることが報告された。かつてのような学術集会前後での会員数の増減は見られず、堅調であることがうかがえる。
- ・2020 年度の年会費納入率は 9 割を超え、2021 年度は現時点で 8 割を超えており、現時点での進捗は順調である。
- ・賛助会員は、2021 年度は 16 社となった。

5. 学術集会報告・準備状況

1) 第 43 回学術集会報告（大塚前会長）

2021 年 7 月 3 日（土）・4 日（日）パシフィコ横浜会議センター

- ・最終的な参加人数は以下のとおりとなった。

①現地参加者：延べ 867 名（2 日間）

②オンデマンド含む全参加登録者数：1,682 名（招待者・協賛企業関係者含む）

- ・収支決算について、157 万円の黒字見込みであることが報告された。決算確定後に、

納税額を除く余剰金を報告し、学会・会長の分配にかかる審議を行う予定となる。

2) 第 44 回学術集会準備状況（讃井会長）

2022 年 8 月 6 日（土）・7 日（日）パシフィコ横浜ノース（現地+OD 配信）

「Break Through 扉を開けよう」

- ・趣意書は企業宛に発出済であり、プログラム案を検討中であることが報告された。

3) 第 45 回学術集会準備状況（近藤副会長）

2023 年 8 月 5 日（土）・6 日（日）ウインクあいち

- ・大塚前会長より情報共有を得て、協賛企業獲得に向けて現在趣意書の作成を準備中であることが報告された。
- ・前日の会合に備えた会場予約も済ませており、テーマもまもなく決定する。

6. 事業報告

1) オンラインセミナーの今後について（大塚理事）

- ・2021 年 6 月に開催した第 51 回日本呼吸療法医学会セミナー（オンライン）は、会場の容量を考慮せずに集客することができたため黒字となったことが報告された。全国各地から参加でき、期間内なら反復して受講可能な点で受講者の評判も良く、今後も継続していく。
- ・確認テストおよび修了証発行に関する一部受講システムの改修が必要となり、本年度は課題解決を優先し、次回は次年度の 2022 年 6 月頃にメディカルスタッフ向けを、秋頃に医師向けセミナーを、それぞれ 1 回ずつ開催する方針である。
- ・テキストの制作・配布方式については委員会内で再度審議し、印刷物を配送する方式を維持し、WEB 掲載やダウンロード方式はとらない方針とした。
- ・全講義受講終了後の「確認テスト」「受講修了証」「アンケート」にかかるシステム改修費は、60～80 万円ほどの見積となっている。
- ・今まで同一内容のセミナーを年度内に関東と関西でのべ 2 回行ってきたが、WEB 化に伴い年 2 回行う必要性がなくなってきた。次回の集客は受講期間を長めにとり、600 名以上を目指す。委託している USCI 社への利用料は、結果的に受講した人数の出来高払いとなっている。
- ・医師向けセミナーは、受講料 12,000 円（税込）、集客 300 名を見込んでいる。
- ・医師向けセミナーについては、呼吸療法専門医のテキストを教材として活用する提案があった。
⇒現在予定しているのは研修医や人工呼吸初心者医師対象の BASIC コースであり、専門医受験向けの Refresher コースは別途委員会で検討し、専門医テキストはそこで活用する方針を共有した。
⇒テキスト内容の適否や記載レベルについて、セミナー委員会からのフィードバックを求める提案があり、了承された。

2) 呼吸療法専門医 2021 年度書類審査結果（藤野理事長）

- ・上記の審査結果が報告され、更新対象者 20 名中 19 名の更新認定が承認された。なお、その 1 名からは過去 2 年間の海外留学による有効期間の延長申請が届いており、委員会で承認した。

- ・新規申請 37 名は書類審査を全員通過し、12/4（土）に筆記試験を実施する。

7. 各委員会報告

1) 抄録アプリの導入（西田委員長）

- ・抄録アプリ採否について、会長予定者・前会長・理事長・委員長とで審議を行い、抄録の本棚機能を有するアプリ版の採用で合意したことが報告された。2022 年 8 月の第 44 回学術集会（讃井会長）での活用に向け、コンベンションと提携して進めていく。
- ・本棚機能やアプリの中に企業のバナー広告を入れるサービスが含まれ、協賛企業にコンベンションより提案を行っていく。
- ・金額は、1 年目：130 万円、2～3 年目：各 50 万円。1 年目の初期費用該当分は本体会計から負担する。iOS/Android のバージョンアップにアプリを対応させていく費用は、制作側負担であることを確認した。

2) 『小児在宅人工呼吸療法マニュアル 第 2 版』執筆依頼（尾崎理事）

- ・2022 年 1 月 11 日を締切日として 20 名の著者に執筆依頼を行い、全著者の承諾を得たことが報告された。

3) 気管吸引ガイドライン改訂 WG 協力員の募集（尾崎理事）

- ・2013 年に発行された標記ガイドラインの改訂に向けて、CQ の設定や本文の執筆などを担当する WG 委員とは別に、文献レビューや検索、内容解釈、統計解析などを担当する協力員を会員に募集したことが報告された。
- ・自薦 15 名、他薦 8 名の候補者が挙がり、WG で最終選考を行う。
- ・今後の活動はメール審議を中心に予定しており、必要に応じて最小限の集合型の委員会を開催する。

8. その他

1) RST プロジェクト：横断幕制作報告（大塚理事）

- ・本プロジェクト登録・認定制度の広報を目的とし、各学術集會会場でのブースにおいて横断幕・ポスター掲載などを実施していくことが報告された。横断幕の制作費は 2 学会で按分する。

2) 今後の理事会日程

- ・第 2 回理事会（WEB）2022 年 2 月 24 日（木）14：00～16：00
- ・第 3 回理事会（WEB）5 月 26 日（木）14：00～16：30
- ・第 4 回理事会（集合開催の場合）8 月 5 日（金）14：00～15：00
- ・上記日程を確認した。

II. 審議事項

1. 役員・委員会人事（大塚理事）

- ・人工呼吸編集委員会：平田陽彦委員から柏 庸三委員への交代
- ・セミナー委員会：平尾委員長、小林委員の後任に、
小山有紀子先生、小野寺悠先生を推薦
次期委員長に方山真朱先生を推薦

- ・専門医委員会：鈴木委員の後任に平井豊博先生を推薦
- ・ECMO プロジェクト：清水敬樹委員の退任（次期委員長就任のため）
大下委員長、鈴木委員、原 委員、荒木委員の後任に、
那須道高先生、文屋尚史先生、星野耕大先生、東條圭一様を推薦
- ・上記の人事について承認した。

2. 過去の機関誌掲載記事の公開案（今中理事）

- ・前回理事会で差し戻し審議となり、編集委員会から改めて以下のとおり上申があった。
→過去の機関誌（創刊から第25巻第1号まで）の冊子を裁断・スキャニング後に記事別にPDF化し、学会ホームページにて一般公開する（経費は35万円）
→近年の機関誌（第25巻第2号から第36巻第1号まで）の会員限定記事についても、学会ホームページにて一般公開する（経費は22万円）
→今後の機関誌（第36巻第2号以降）については、①発行前の「投稿論文（先行掲載版）」は学会ホームページで、②発行時の「投稿論文」はJ-STAGE、「依頼原稿」「その他の記事」は会員専用ページで、③1年後に「依頼原稿」はJ-STAGEで、順次一般公開する（J-STAGE 登載作業費は1記事あたり7,000円）
- ・過去の広告記事にも資料的価値があり、公開する。
- ・経費も含め、上記案について承認された。

3. 「内規」の呼称・非公開について（大塚理事）

- ・現在、本会ホームページ上で公開している「定款」「定款施行細則」「理事会・各種委員会内規」について、以下のとおり上申があり、承認された。内容については司法書士にすでに確認を行っている。
①現在の内規に記載されている内容は、内部向けの規定というよりも対外的な定義・公表という側面が強く、「内規」という呼称がふさわしくないため、「規則」に変更する。
②「理事会・各種委員会内規」の前半部分を「理事会・委員会規則」として分離
③後半部分を「各種委員会規則」とし、各委員会の「内規」を「規則」に変更。
④法律上は、「定款」「定款施行細則」も含め、各種規則をホームページ上で公開する義務はないが、上記いずれもこのまま公開する。
- ・その他、定款関連の改正履歴に記載されている「改正」の文言については、一般的な法律用語に準じて「変更」に差し替えたことが報告された。

4. 集中治療専門医の関連学会にかかる要望について（藤野理事長）

- ・集中治療専門医の実績要件に、本会の学術集会発表を単位として認定していただくための申請を行うことが承認された。

5. 代議員審査・役員選挙 2022 業務日程（西田理事・大塚理事）

- 【参考】現役員の任期一覧
- ・今期実施予定の代議員審査・役員選挙にかかる業務日程案について承認された。2022年の主な予定は以下のとおり。

3/01 代議員〈更新・新規〉申請開始（更新：～3/31、新規：～4/28）

5/09 審査（代議員審査委員会）、理事会報告

5/26 理事会審議

6/02 役員選挙のお知らせ

6/16 役員立候補者公募（届出期限：～7/01）、選挙準備

7/22 役員選挙公示（～8/04）

8/05 役員選挙（於；2022 年定時社員総会）

6. 各委員会からの審議事項

1) セミナー委員会内規の修正について（大塚理事）

- ・本委員会の内規は集合型セミナーの開催を想定して 25 年前に作成されたものであり、オンラインセミナーが導入された現状に即しておらず、修正案が上申され、承認された。

2) ARDS 診療ガイドライン 3 学会立替分請求（橋本前委員長）

- ・旅費・謝金等の本会負担分 828,351 円について、承認された。

Ⅲ. 会計報告

2021 年度上半期会計報告（大塚理事）

- ・上半期の会計報告が大塚事務局担当理事より報告された。